

第4回 千代川圏域県管理河川の減災対策協議会 議事概要

1 日 時 : 平成31年1月9日(水) 13時30分~14時40分

2 会 場 : 県庁議会棟3階特別会議室

3 出席者

(委員)

鳥取市長(代理) 危機管理局長 乾 秀樹

岩美町長 西垣 英彦

若桜町長(代理) 総務課長 竹本 英樹

智頭町長(代理) 総務課参事 福安 教男

八頭町長(代理) 総務課 防災室長 田井 信

気象庁 鳥取地方气象台長 川上 徹人

国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所長(代理) 副所長 片寄 秀樹

鳥取県 危機管理局長 安田 達昭

鳥取県 企業局長 丸毛 裕治

鳥取県 県土整備部長 山内 政己

鳥取県 鳥取県土整備事務所長 福政 孝啓

鳥取県 八頭県土整備事務所長 新 浩薫

(オブザーバー)

国土交通省中国地方整備局河川部 地域河川課長 古南 弘史

4 議題

(1)今年度の出水対応等について

(2)今年度の取組状況について

(3)「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」の結果を踏まえた取組について

5 議事概要

○ 今年度の出水による被災状況及び対応状況等について、鳥取地方气象台及び事務局、鳥取県土整備事務所、八頭県土整備事務所より報告

○ 今年度の取組状況について、事務局より報告

・想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域の公表

・簡易浸水想定区域の公表予定

・河川監視カメラ、危機管理型水位計の増設箇所 等

○ 「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」の結果を報告し、報告書で提示された実施すべき取組を本協議会において取り組み、フォローアップしていくことを確認。

(主な意見)

- 想定最大規模の洪水浸水想定区域図の公表をうけて、ハザードマップの更新と避難所の見直し作業を進めており、浸水範囲内であっても最大浸水深以上となる建物であれば避難所に位置づけようとしているため、浸水深のデータ提供等協力をお願いしたい。
- この協議会を通じて顔の見える関係が構築された方からのホットラインによる情報提供は、より切迫感が伝わってくるので非常にありがたい。技術的助言として、破堤や越水の恐れの有無やその箇所、想定される浸水範囲を助言してもらえると災害対応の参考になる。
- 河床掘削が大きく効果があったと感じており、今後とも河床掘削、立木伐採によりできる限りの河川断面の確保をお願いしたい。また、河川改修による狭窄部の早期解消をお願いしたい。
- 職員だけでは対応しきれないことを改めて認識したことから、自助・共助を強化するため、自主防災組織を各集落に設立していく取組を来年度に向けて検討中である。
- 危機管理型水位計を各支流にも設置し、情報共有できれば、避難勧告発令の判断等早めの対応が可能になるのではないかと。
- 県(河川管理者)と水防団との意見交換会は大変意義があった。また、今後の対応や判断の参考とするため、出水時の写真や映像を残すべきと感じている。
- 河川監視カメラのインターネット配信について、アクセスが集中した時にフリーズしないよう改善をお願いしたい。
- 今後はダム管理者の立場としても当協議会に参画し、国のほうでダムの情報伝達等について検証した結果などを情報提供していく。
- 河川改修が終わってない箇所であれば、河道に堆積した土砂や流木を撤去しても完全に安全な川になるわけではないので、避難が必要であることを、誤解のないよう住民等に理解してもらうよう努めなければいけない。
- 7月豪雨の際、報道機関から「避難勧告の遅れが被害の原因ではないか」というような問い合わせが災害対策本部に殺到した。早めの対応がとれるよう出水期までにできる限りの対応をお願いしたい。